

授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

テーマ : 国際課税の現場では何が起きているか
授業特別協力者名 : 中宇根 幹夫 氏
実施日時 : 2024年5月31日(金) 4時限
担当教員名 : 山上 淳一
授業科目名 : 税務会計論
履修者数 : 199名

実施結果

KPMG 税理士法人のパートナーで国税税務の専門家である中宇根幹夫税理士をゲストスピーカーにお招きし、「国際税務の現場では何が起きているか」というテーマで講話をいただいた。

講話では、国際課税の基本につき初学者にも分かりやすいよう解説をいただいた後、国際課税分野では通常どのような点が課税上問題となるのか、100年に一度といわれる国際課税ルールの大改革とはどのような内容か等について紹介をいただいた。

さらに、講師ご自身の国税庁における実体験に根差し、OECDにおける国際課税ルール作りや移転価格税制をめぐる各国との相互協議の実情等をご紹介いただいたほか、税理士法人における業務の実態や海外での活躍を目指すためのキャリア・パス等についても具体的にご教示いただいた。

公認会計士・税理士等の会計専門職や国税職員を目指す学生にとっては、業務の実像に迫る情報をうかがう貴重な機会となり、また、その他の学生にとっても、国際課税分野への関心を持つきっかけとなり、税務会計論の学修へのモチベーションが大いに高まったものと考えられる。

なお、特別講義終了後には、税理士ファームや国税専門官を目指す学生等が進路等について熱心に相談する場面も見られた。

